

その後いかに経過していますか？プロジェクト



## とよた森林学校



対応してくれた人の名前：北岡明彦  
 調査員：沖章枝 松井賢子 浅田益章  
 レポート作成者：浅田益章  
 取材日：2016年11月9日  
 取材場所：愛知県豊田市森林課（豊田市足助支所地内）

### 活動内容（「山村再生担い手づくり事例集」より）

1. 人工林の間伐ができる人材の育成。
  2. 今までに森林や林業に関心がなかった森林所有者に森林や林業の基礎知識を解説する。
  3. 森林・林業の理解者などの「森の応援団」を増やす。
- 以上の目的のために年間14の講座を開いている。大きく分けて、「人材育成コース」と「森の応援団コース」の2コースがある。前者は本格的に人材を育成するコース、後者は市民が気軽に参加し、森林への理解を深めるコースになっている。特に「森の応援団コース」は人気が高く、抽選となる講座もある。

### 前回の取材後、どのような変化がありましたか？

#### (1) 活動に変化なし。

- ①人工林の間伐ができる人材の育成
- ②関心の低い森林所有者への森林や林業の基礎知識の解説
- ③森林・林業の理解者などの「森の応援団」を増やす

2006年にスタートして以来、人材育成コースと森の応援団コースの2つの市民向け講座で林業や森林管理に携わるボランティア・就業者の育成を図る。都市部住民には自然観察や昆虫観察を通して森林や間伐への理解に努めてきた。

豊田市の市民42万人。せめて1割は講座に参加してほしい。そのためには間伐や森林への基本的な理解、普及が大事である。講座のプログラムはニーズに合わせて変えてゆきたい。

#### (2) 最高賞受賞（2016年10月）

森林学校の10年に及ぶ活動が評価され、「間伐・間伐材利用促進ネットワーク」のコンクールで最高の林野庁長官賞を受賞した。

評価されたこと：

- ①市、森林組合、NPOの3者連携。取り組みの継続
- ②講座内容が充実している
- ③地域リーダーを養成し、将来につながる活動
- ④森の応援団の育成など都市部と中山間地をつなげる活動である

豊田市は市の7割を森林が占める。手入れされない人工林によって大きな水害が出た。（東海豪雨、2000年）都市部の安全も損なう。そのもとになるものが森林であり経済力を支える源である。豊田市は豊田市全体ビジョンとして考えている。国や県の施策と違ってきてても市にあったことをやる必要がある。地域ごとに森に対する価値が違うから。市が森林管理をきちっと主導する時代になっている。

### (3) 人工林と天然林の違いを理解した森林管理

豊田市の森林地域は広い。天然林と自然林の違いを理解して森林管理をすることが肝要である。

- ・天然林は自然のままに。植林をする必要がない
- ・人工林は手を入れなければいけない。スギとヒノキ
- ・コナラは天然林も人工林もある。(しいたけの原木)

豊田市の高標高地における植生遷移の模式図で北岡さんに教えていただいた。

森林を完全に裸地化するとまず風散布型種子の草本植物が侵入し、いろんな樹木に移り変わりブナ林になる。

長い時間がかかって森林は成長することが模式図で分かった。

講座には自然観察の講師もいる。校長の藏治先生は林学だけど生態学もよくご存じである。

生態学を踏まえた林業、森林管理が大事である。

### 地域の変化

豊田市は広大な森林をバックに持つ先進的な工業都市である。都市部の市民と中山間地域の市民が生活している。都市部で働き、中山間地域に住まいを持つ市民もいる。自然豊かな地に住む先進工業都市と言える。都市部と中山間地の交流や補完による自然の恩恵を得ることが期待できます。クオリティーの高い暮らし方を得ることができる。

豊かな森に育てるためには人工林は管理を必要とします。広葉樹林などの自然林は保護、保全が重要である。林業だけでなく、暮らしを豊かに、楽しくするような多様な形の森林が求められるであろう。

### これからやろうとしていること

北岡さんは現在、豊田市の森林課勤務である。近い将来の定年後のことを尋ねてみました。引き継ぐ後継者がいないと言われた。引き継ぐことなど簡単にできることではないとのこと。個人商店のようなもの。今は市営の森林学校であるが私営の森林学校をやりたいと言われた。子供たちが喜んでくれるのが楽しい。トヨタの森に対する情熱と愛情を強く感じました。そういう人がいないと森は守れないとも感じました。

### 山村再生担い手づくり事例集の活用に関するアイデアがありましたら教えてください

とよたの森林学校の事例は、隣接する岡崎市の森づくりや森林管理などに大いに参考になるものである。今回一緒に訪問した沖さんは岡崎市に働きかけているとのこと。そのときにこの事例集は大いに役立つのではないかと思います。

写真



① 香嵐溪(豊田市足助町)



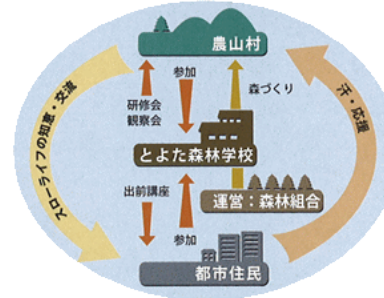
② 豊田市森林課(足助支所地内)



③ 森の応援団育成ポスター



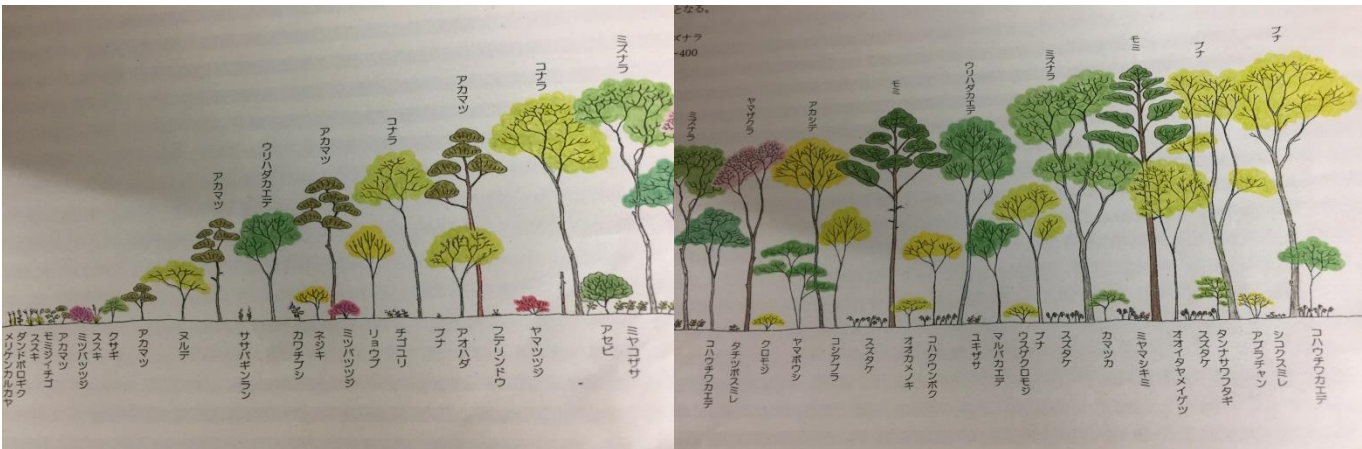
④ 対応していただいた北岡さん



⑤ 特徴:校舎のない学校 (HPより)



⑥ 全国コンクール最高賞受賞



⑦ 豊田市の高標高地における植生遷移の模式図(安定したブナ林になるまでに)